個人投資家向け説明会

住友商事株式会社

2024年12月

住友商事株式会社（証券コード：8053）

Contents

01 住友商事について P.3

02 中期経営計画2026 P.7

03 強み・競争優位を発揮する成長事業 P.12

04 業績、株主還元 P.26

© 2024 Sumitomo Corporation

1. 住友商事について

© 2024 Sumitomo Corporation

住友商事の沿革

＊住友史料館所蔵

＊住友史料館所蔵

100th ANNIVERSARY SINCE1919

1919 大阪北港(当社前身)設立

1945 商事活動に進出

1952 住友商事に改称

2019

従業員数：32人

事務所数：65か国・地域

連結事業会社数：884社

連結従業員数：79,692人

トレード拡大 → トレード・事業投資（多角化） → 更なる総合力発揮へ

© 2024 Sumitomo Corporation

事業概要

- 9つのグループ、国内・海外地域組織が連携し、幅広い産業分野で事業展開。
- 「強固なビジネス基盤」「多様で高度な機能」を統合、変化を先取りし、新たな価値を創造。

鉄鋼グループ

自動車グループ

輸送機・建機グループ

都市総合開発グループ

メディア・デジタルグループ

ライフスタイルグループ

資源グループ

化学品・エレクトロニクス・農業グループ

エネルギートランスフォーメーショングループ

トレード拡大 → トレード・事業投資（多角化） → 更なる総合力発揮へ

© 2024 Sumitomo Corporation

住友の事業精神

- 確実を積み重ねて構築した、社会や顧客との信頼関係は、新たな事業発展につながる。
- 自身を利するだけでなく、国を利し、社会を利することが、事業発展の礎となる。

確実を旨とし、浮利に趨らず

企画の遠大性

じ り り た こうし いちによ
自利利他公私一如

進取の精神

© 2024 Sumitomo Corporation

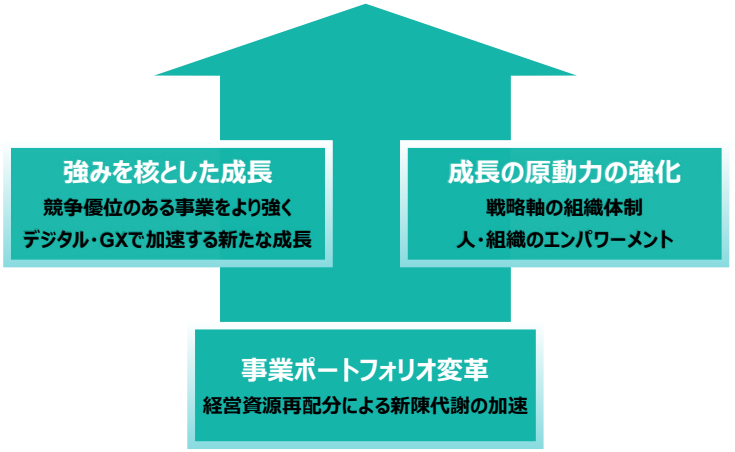
2. 中期経営計画2026

© 2024 Sumitomo Corporation

中期経営計画2026と進捗

No.1事業群

競争優位を磨き、社会課題解決を通じた成長を実現



強みを核とした成長

- ✓ 外部環境の影響により一部足元で低調な事業もあるが、全社では期初計画通り進捗
- ✓ No.1事業群を意識した各SBU戦略のアップグレードにより、注力事業を中心に投融資パイプラインも充実

成長の原動力の強化

- ✓ 戦略を軸とした組織となった事で戦略の解像度が向上、組織の細分化・階層削減により、スピード感をもった戦略遂行が図られている

事業ポートフォリオ変革

- ✓ 計画した投融資・資産入替が着実に進捗

© 2024 Sumitomo Corporation

定量目標サマリー

当期利益（親会社の所有者に帰属）

2024年度 業績予想 ：**5,300**億円

2026年度 利益計画 ：**6,500**億円

効率性指標

ROE 12% 以上

財務健全性

株主還元後
フリーキャッシュ・フロー黒字＊

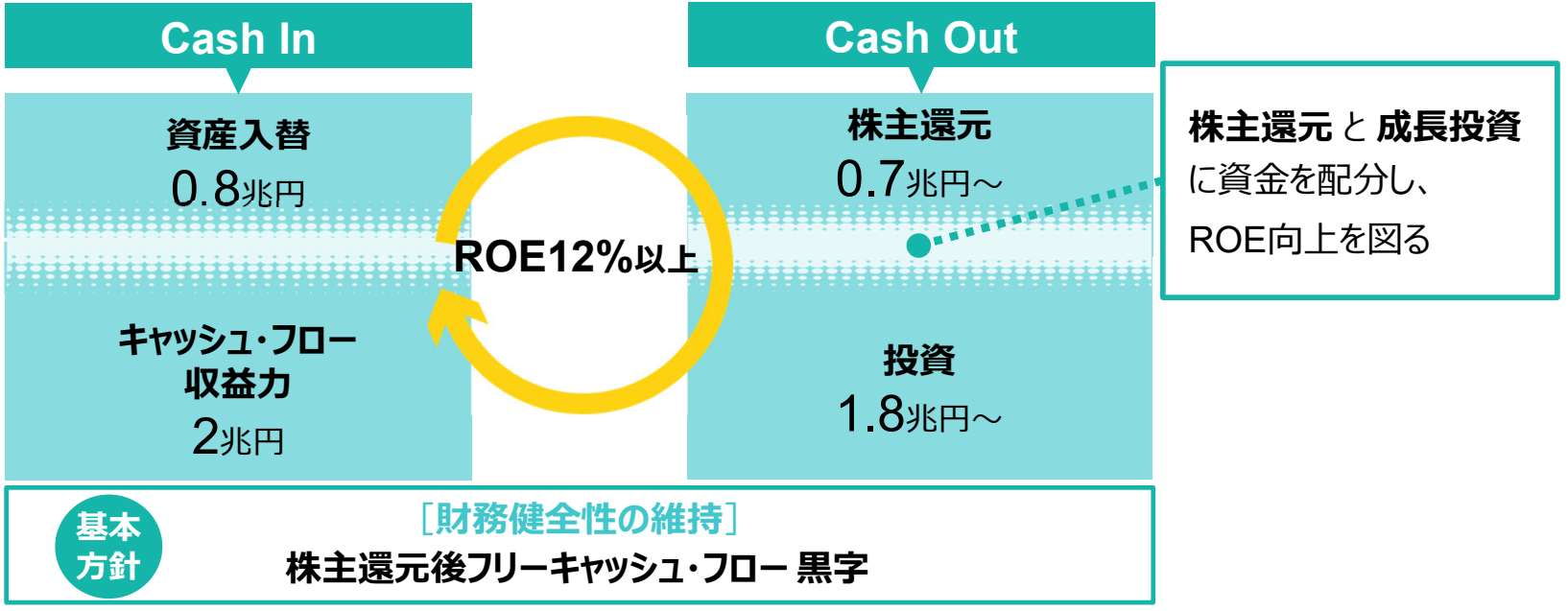
株主還元

総還元性向40% 以上
累進配当

＊ 運転資金の増減等を除く

© 2024 Sumitomo Corporation

キャッシュ・フローアロケーション（3年合計）

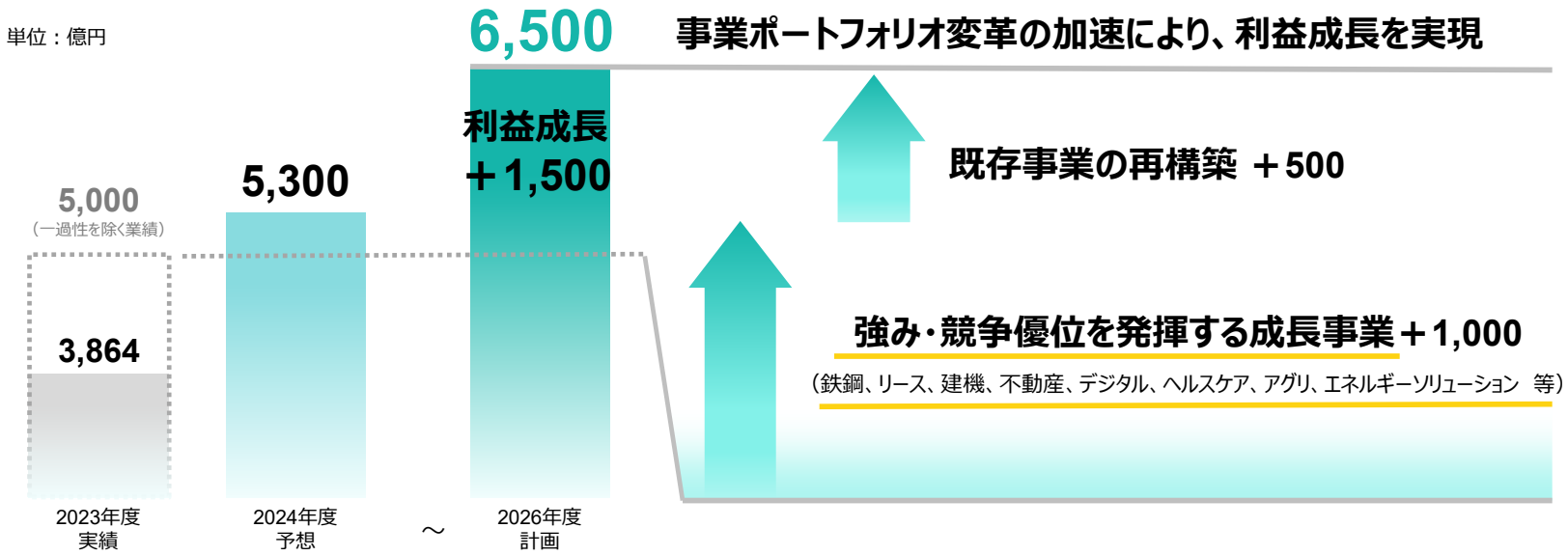


© 2024 Sumitomo Corporation

利益成長の推移

- ROE12%以上を維持しつつ、競争優位を発揮する成長事業を伸ばすことで、2026年度に当期利益6,500億円を目指す。

当期利益（親会社の所有者に帰属）



© 2024 Sumitomo Corporation

3. 強み・競争優位を発揮する成長事業

© 2024 Sumitomo Corporation

国内・海外ヘルスケア事業

© 2024 Sumitomo Corporation

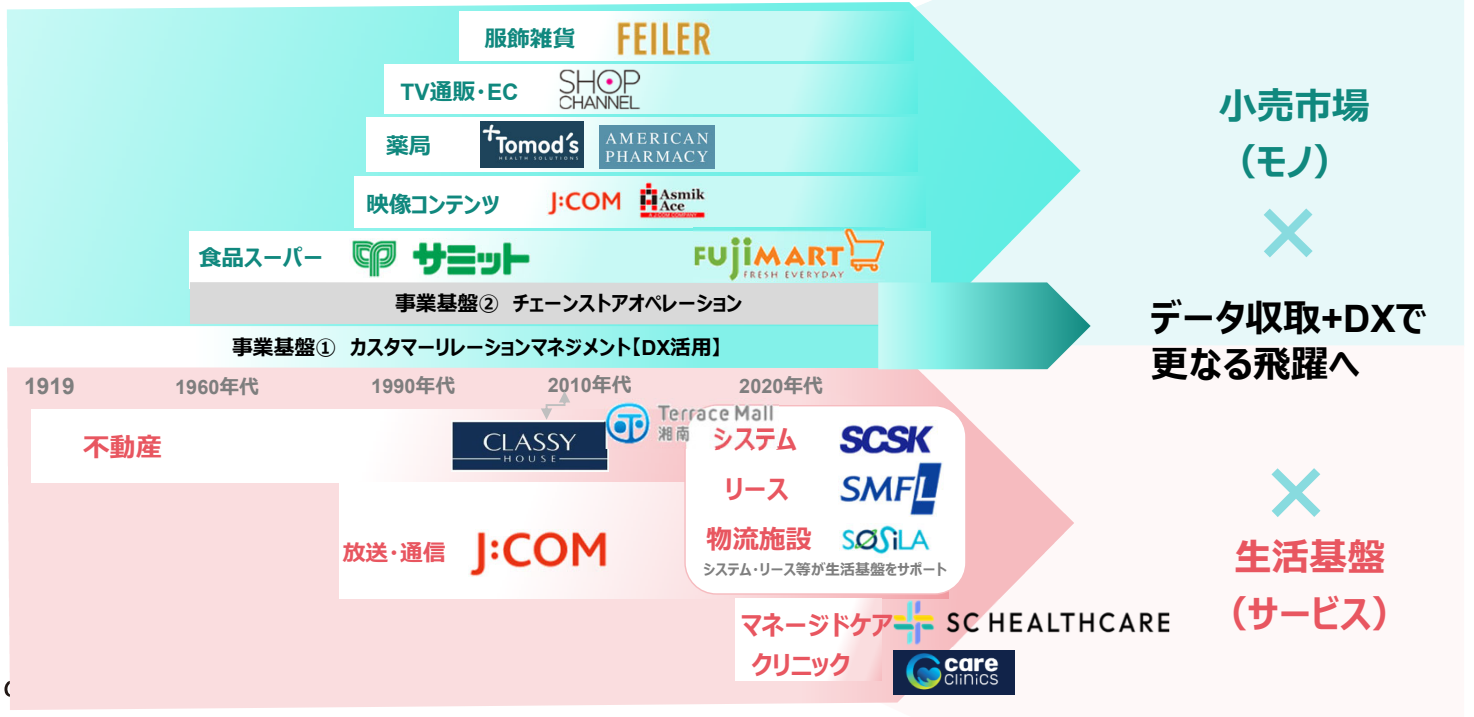
生活関連ビジネス

- 祖業は不動産、生活関連ビジネスを育む土壌があり、広い事業範囲で展開。
- 幅広い生活領域における経営ノウハウこそ、事業成長の源泉。

© 2024 Sumitomo Corporation

住友商事の生活関連ビジネスの強み

- 小売市場ブランド群と生活基盤ブランド群は、それぞれデータ収集し、DX技術を活用することで、消費者とモノ・サービスの両面で直接的な結びつきを強化し、さらなる強みを構築。



© 2024 Sumitomo Corporation

国内ヘルスケア

- 地域で最も身近な「かかりつけドラッグストア」。都内中心に450店舗展開。
- 調剤薬局事業をベースに、在宅医療事業領域にも拡充。

オンライン診療→配達　在宅調剤

規模

調剤薬局向けプラットフォーム事業 2025～

在宅医療事業 2023～

調剤薬局事業 1990年代～

関東

薬樹

Tomod's HEALTH SOLUTIONS

AMERICAN PHARMACY

drug&cosmetic KATSUMATA

MEDICO

薬KOEI ユーエイドラッグ

関西

GREENMEDIC

株式会社 メディカルユアーズ

時間

店舗拡大・収益化	事業基盤②　チェーンストアオペレーション　（多店舗化＝規模拡大に向けた経営ノウハウ）
地域密着・双方向	事業基盤①　カスタマーリレーションマネジメント【DX活用】 （特定顧客＝地域顧客との関係を継続的に築き上げ、その結果として利益・企業価値を向上させる経営ノウハウ）

© 2024 Sumitomo Corporation

国内ヘルスケア

紹介動画

© 2024 Sumitomo Corporation

海外ヘルスケア

- 国内で培った経営ノウハウを活かし、海外でプライマリケアサービスの構築を開始。

マネージドケア事業

医療機関と連携し、企業・医療保険会社に対して医療費管理、健康促進サービス等を提供

企業・医療保険会社

マネージドケア事業会社

医療内容の精査	医療費の請求
最適な医療機関の選定	医療サービスの適正化
健康促進サービス	医療機関への送客

医療機関

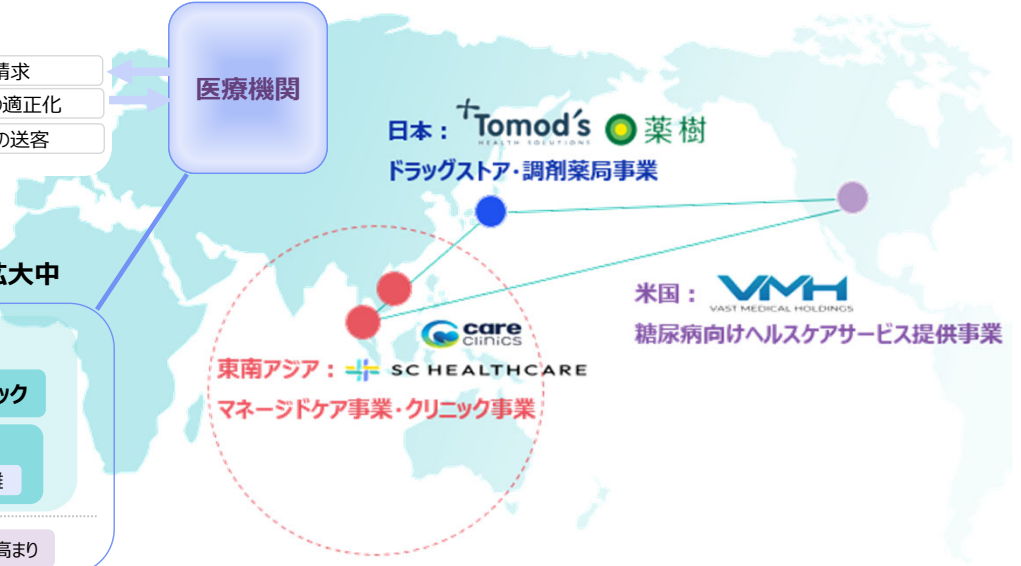
クリニック事業

質の高い民間医療機関へのニーズの高まりに対応し、施設数を拡大中

民間医療機関	公的医療機関
病院・専門クリニック	病院・専門クリニック
クリニック	クリニック
	公的医療機関の混雑

環境・社会的要因
- 慢性疾患の増加
- 未病・予防サービスへのニーズの高まり

世界で展開するヘルスケア事業



© 2024 Sumitomo Corporation

海外ヘルスケア

- マレーシアにおいてNO.1マネージドケア事業およびクリニックチェーンを構築。

国内ノウハウ

店舗拡大・収益化	事業基盤② チェーンストアオペレーション （多店舗化＝規模拡大に向けた経営ノウハウ）
地域密着・双方向	事業基盤① カスタマーリレーションマネジメント【DX活用】 （特定顧客＝地域顧客との関係を継続的に築き上げ、その結果として利益・企業価値を向上させる経営ノウハウ）

© 2024 Sumitomo Corporation

航空機関連ビジネス

© 2024 Sumitomo Corporation

航空機関連ビジネス

- 世界の人・モノの移動に欠かせない航空3事業群を幅広く展開。エアラインマーケットに、機体から整備・部品まで提供。

リース

エアモビリティ

ヘリリース

ヘリコプターリース業界、世界第2位

SMFL
三井住友フィナンシャルグループ：50%
住友商事：50%

エンジンリース

SMBC AERO ENGINE LEASE

エンジンリース業界、世界第5位＊
＊メーカー系除く

航空機リース

SMBC AVIATION CAPITAL

SMFL：SMBC ＝ 68%：32%

航空機リース業界、世界第2位

アフターマーケット

アフターマーケット・部品、整備・修理

エンジン整備・ランディングギア整備
中古航空機・部品のトレード、パートアウト事業

製品・技術

住友精密工業株式会社
住友商事100%出資

降着装置

空圧スタータ

熱制御システム

・トレント1000用 等

航空機エンジン内部に使われる熱制御システム

＊トレント1000：ロース・ロイス社製航空機エンジン

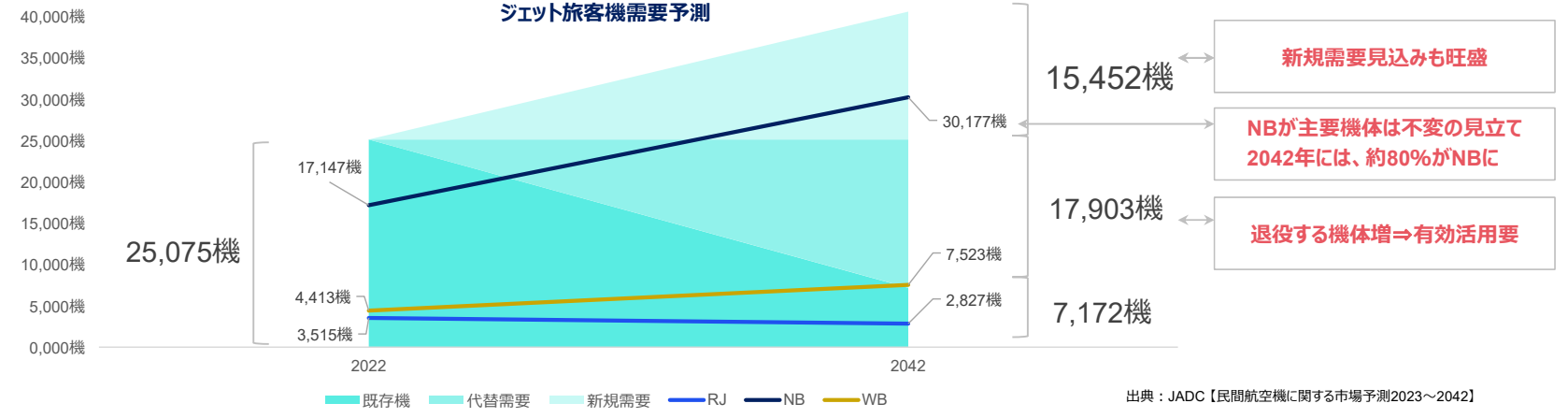
© 2024 Sumitomo Corporation

今後の航空機市場予測

- 今後20年間は、市場規模が堅調に拡大し、中でもNarrow body の需要が更に高まる。
- 一方で、退役機体も増加、機材有効活用や機体リサイクル事業が期待される。

機体種類と旅客機需要予測

RJ：Regional Jet　（座席が100席未満の小型ジェット）
NB：Narrow body Jet　（大型航空機で機内の通路が1本の機体）
WB：Wide body Jet　（大型航空機で機内の通路が2本の機体）

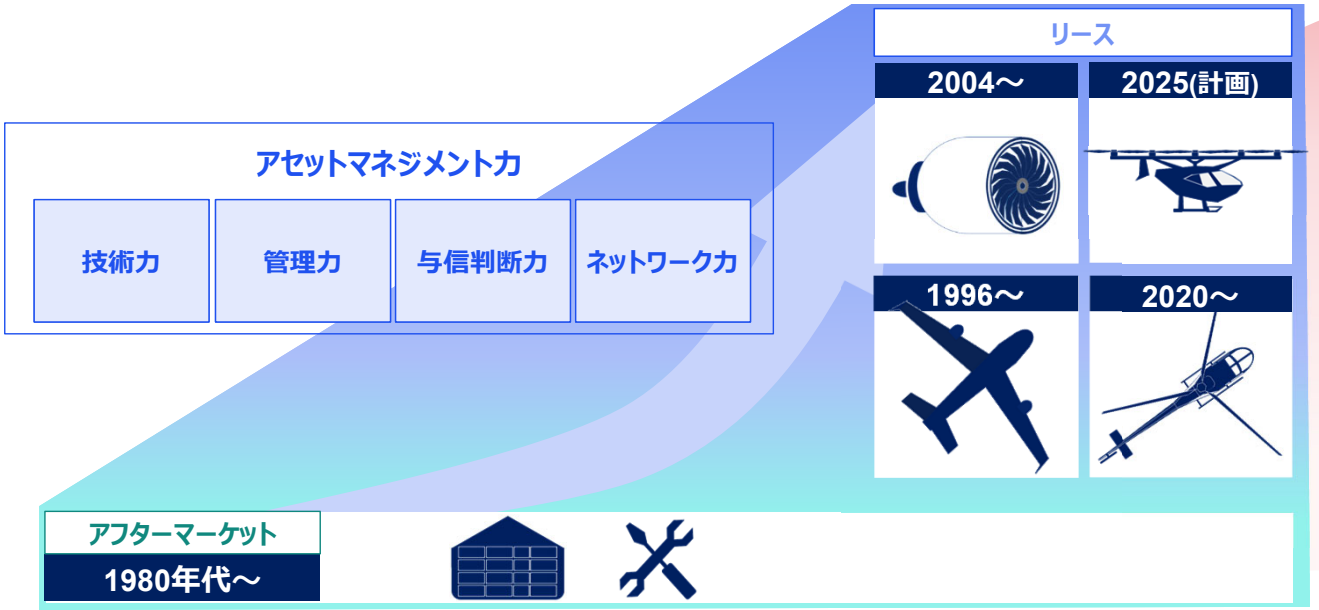


出典：JADC【民間航空機に関する市場予測2023～2042】

© 2024 Sumitomo Corporation

住友商事の航空機関連ビジネスの強み

- アフターマーケットで培った知見・ネットワークをベースに航空関連事業を拡充・多様化。
- 強みは、景気循環（市場）を捉えた、アセットマネジメント力。



© 2024 Sumitomo Corporation

航空機リース事業

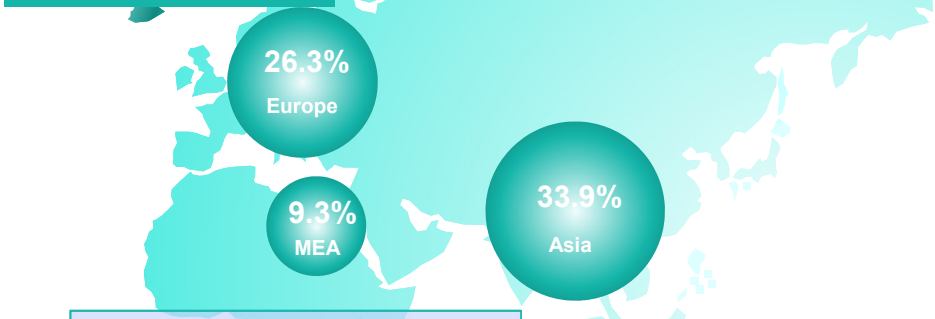
- 取引先50カ国150社に広く航空機リース事業を展開し、エリアリスクを分散。
- 主要機材は流動性の高いNarrow body 中心、保有航空機資産は約3兆円。
- 保有機体の平均機齢を若く保つことで、高い資産価値を維持・コントロール。

SMBC AVIATION CAPITAL

SMFL：SMBC=68：32

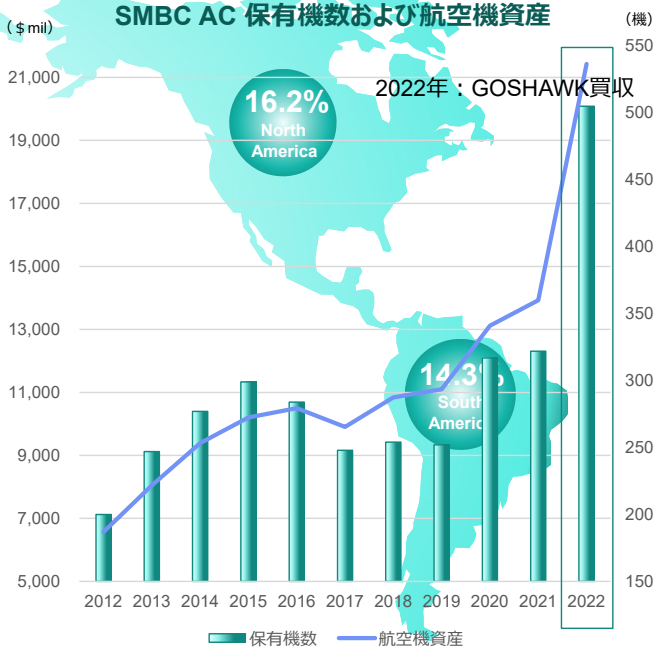
SMFL | 三井住友フィナンシャルグループ：50%、住友商事：50%

保有機体の分散



SMBC ACの特徴		
Narrow body比率	83%	国内・短距離路線向け
取引先	150社	取引先のリスク分散
平均機材年齢	約5年	高い流動性
保有機材分散	50カ国	エリアのリスク分散

SMBC AC 保有機数および航空機資産



© 2024 Sumitomo Corporation

航空機関連ビジネスの新たな取組み

- 空の脱炭素化へ貢献するべく、新たな空の交通・移動手段を社会へ提供。

脱炭素・環境対応・循環経済型ビジネス

＜カーボンクレジット提供やSAFの安定供給等を通じた社会のCO2削減を目指す＞

●インドネシアでのマングローブ植林由来のクレジット事業に参入
20年に亘り、累計60万tのカーボンクレジット創出を目指す

●北米でのSAF生産共同開発事業。2029年商業生産を目指す
●日本・北米でのSAF原料バイオエタノール製造。商用生産に向けて開発中

アドバンストエアモビリティ

＜無人物流ドローンやエアタクシー等、短中距離の区画をより安価且つ容易に移動できる次世代輸送サービス提供を目指す＞

- 日本航空との連携を通じたAAM分野における収益拡大、知見の蓄積
- トラック配送のドローン配送への代替化検討
- OneSky System社を通じた、AAM分野での無人機管制システム提供

© 2024 Sumitomo Corporation

4. 業績、株主還元

© 2024 Sumitomo Corporation

2024年度第2四半期（中間期）決算サマリー

- 2024年度中間利益（親会社の所有者に帰属）は2,540億円。
- 通期業績見通し 5,300億円を据え置き。下期の不確実性への備えとしてバッファー△200億円を含む。

2024年度第2四半期（中間期） 決算サマリー

（単位：億円）

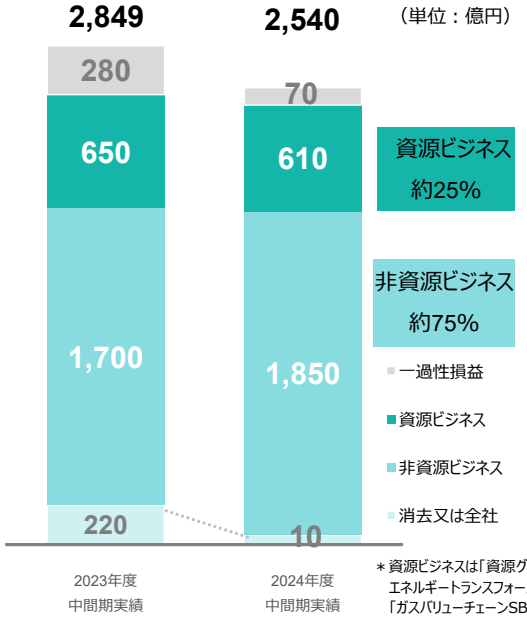
	2024年度 通期見通し (24/10公表) ①	2023年度 中間利益実績 ②	前年同期比 ③－②	2024年度 中間利益実績 ③	進捗率 ③/①
当期利益（親会社の所有者に帰属）	5,300	**2,849**	**△309**	**2,540**	**48%**
一過性損益	200	280	△210	70	-
一過性を除く業績	5,100	2,570	△100	2,470	48%

© 2024 Sumitomo Corporation

2024年度第2四半期（中間期） 実績（セグメント別 中間利益）

- 2024年度中間利益実績：2,540億円（うち、一過性を除く業績：2,470億円）

中間利益実績（前年同期比）



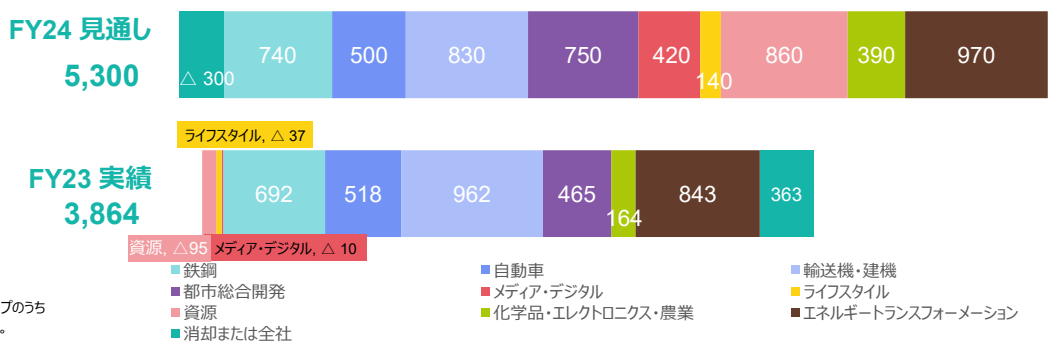
＊資源ビジネスは「資源グループ」と、
エネルギートランスフォーメーショングループのうち
「ガスバリューチェーンSBU」の合計です。

セグメントごとの2024年度第2四半期(中間期)実績

（単位：億円）

セグメントごとの通期見通し及び前年度実績

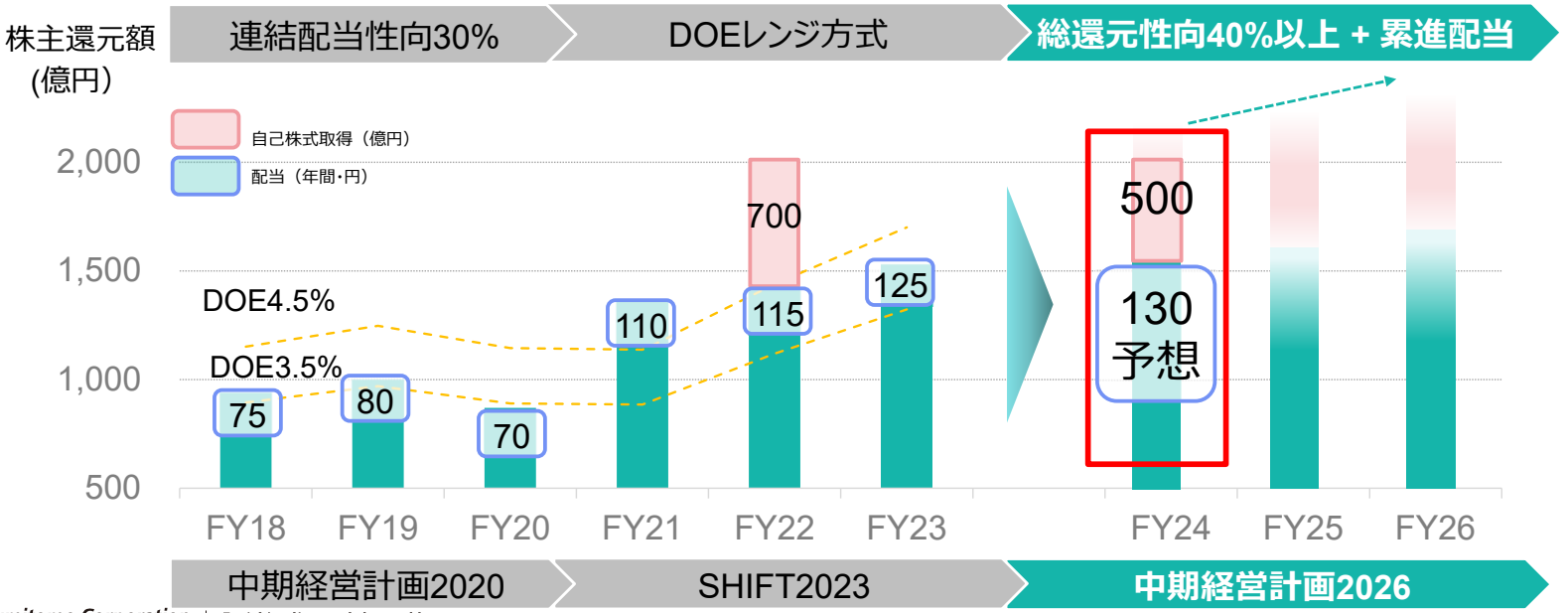
（単位：億円）



© 2024 Sumitomo Corporation

株主還元推移

2024年度 株主還元	• 年間配当予想(1株当たり) 130円/株（前期比 5円増配）（中間：65円、期末：65円（予定）） • 自己株式取得 500億円 (期間：2024年5月7日～2024年6月17日で取得、全株消却済)



© 2024 Sumitomo Corporation

質疑応答

© 2024 Sumitomo Corporation

将来見通しに関する注意事項

本資料に掲載された予測および将来の見通しに関する記述等は、本資料の発表日現在における入手可能な情報、一定の前提や予期に基づくものです。よって、実際の業績、結果、パフォーマンス等は、 経済動向、市場価格の状況、為替の変動等、様々なリスクや不確定要素により大きく異なる結果となる可能性がありますが、当社は、本資料の情報の利用により生じたいかなる損害に関し、一切責任を負うものではありません。また、当社は、本資料に掲載された予測および将来の見通しに関する記述 等についてアップデートする義務を負うものではありません。

© 2024 Sumitomo Corporation